

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

再生・新生・共生

高田ロータリークラブ
今年のスローガン

ロータリーを楽しもう！
夢と誇りをもって



2022-2023年度

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

第2560地区ガバナー 高橋 秀樹

高田ロータリー会長 高橋 正彦

幹事 飯塚 宏佳

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025)526-3288 FAX (025)526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL(025)526-3111

広報・会報・雑誌委員会：

伴 長門・齋藤俊幸・藤林陽三・出澤英則

第32回例会 4月21日(金)

No.32

会長挨拶

●高橋正彦



皆さんこんにちは。

いよいよ来週29日からGWが始まります。今年のGWは長い所では9日の休日になるようです。コロナによる規制が緩和された為、観光地や高速道路はコロナ前のように混雑や渋滞が予想されているようです。遠くへ行かれる方はお気をつけいただきたいと思います。

さて、外国人の方が高速道路で驚かれているようです。まず高速道路に乗る前の時点で、車が動き出すと「ETCカードが挿入されました」と装備されている機械が人間の声で案内するのは珍しいようです。海外ではETCの機械自体ほとんどないそうです。そして高速の出入り口には料金所があり、料金が細かく加算されていく。外国ではほとんど高速は無料が多いようで、有料でも料金所はなく走る前に料金を一括で払いステッカーを車に貼るか、車を登録したICステッカーにより管理され区間ごとに料金を払う方法があります。そして日本の高速料金が高いのに驚き、さらに、日本のサービスエリアはかなり地方のほうでも近代的で飲食やサービス・地域の特産物が対面販売されており、どこでも清潔で衛生的で、まるでディズニーランドは日常生活の中にあるようで、海外ではこのようなサービスエリアはほとんどないそうです。たまにあった場合でもトイレは汚く、食べるものはほとんどなく、治安が悪く、盗難やカツアゲがあるようです。これから海外旅行をされる方が増えると思います。海外での高速道路を使用される場合はお気をつけていただきたいと思います。

本日の卓話は、会員卓話で渡邊 隆様です。演題は、人生いろいろ！です。ご清聴お願いします。

出席報告

出席率 100%

ビジター



大竹賢一様
地区財団委員会奨学金・VTT・
学友会委員長

メイクアップ

大谷光夫君・本山秀樹君・中田 正君・飯塚宏佳君：
4/15 柏崎 RC 創立 70 周年記念式典
高坂光一君：4/18 米沢上杉 RC

ニコニコ BOX 紹介

大竹賢一様(地区財団委員会奨学金・VTT・学友会委員長)：本日はよろしくお願ひいたします。

お客様スピーチ

大竹賢一様(地区財団委員会奨学金・VTT・学友会委員長)

委員会報告

米山奨学委員会：寄付のお願い

高坂光一君：米沢上杉 RC 周年式典についてのお願い

幹事報告

配布物：会報No.31

報告：会員インフォメーションについて、
次回例会は 5/12 (4/28・5/5 休会日)

会員卓話

人生いろいろ！



学校法人関根学園 理事長 渡邊 隆君

今は、狩猟時代から始まった文化史は 5 番目の時代；Society5.0の時代を迎えている。この現代に生きる私たちの日常が、以前と比べて相当変わってきている。

例えば、2008年8月7日に発売されたApple のiPhoneは、15年たった今では、いわゆるスマホと呼ばれ、日常の必需品となっている。発売当時、こんな事は予想されなかった。こんなものは使われないだろうとさえ言っていた。

しかし、今はスマなしでは、日常が暮らせない。それだけではない。その後のICTと Netの目覚ましい発展で、さらに新しい生活の形が作られている。毎日の生活でUberEats, Netflix, GO, radiko, Spotifyなどを利用しているのではないのでしょうか。外食はUberEatsに変わりタクシーもほとんどスマホによる予約になり、近くのファミレスに行くとそこには配膳ロボットがやってくる言う状況だ。全く、日常の様子が一変してしまった。

私たちの周りの若者と言えば、Z世代と言われる若者たちが世界を席卷している。スポーツの世界でも音楽の世界でも、文学の世界でも。

こんな世界でいろいろなことが起こっている最近では、もっとショックなことがある。ChatGPT の出現だ。2022 年末に発表されて以来、世間を騒がせている。これまでの私たちの全てのデータを網羅した対話型 AI の出現である。

実際に使ってみると興味あることがいろいろ出てくる。俳句を作らせればそれなりにつくるし、悩み事を相談すれば、それもそこそこの答えが出てくる。プロジェクトの計画作りを手伝ってくれたり、いろいろな知恵を出してくれる AI である。

しかし、一方踏み込んで使ってみるといくつか問題点が出てくる。簡単な計算は正しく出してくるが、計算がちょっと複雑なものをやらせると、答えはまだまだ不安定である。

また個人の情報についても、まだ不十分な点がある。例えば上越教育大学の学長の名前を聞くと間違った人を出してくる。まだ、データが入っていないのであろう。このように ChatGPT については少し問題が残るので気をつけなければいけない。

このように進歩した AI の社会にいる私たちは、AI を使う場合、その判断には責任を取らなければいけない。そんな社会で私たちはどうやって生きていったらいいのか考えさせられる。

私は、結構単純に考えている。人間は、元々、頭と手と体でいわゆる心技体を基本とした生き物だ。これが、生きていくの基本である。AI から発信される情報を判断するのは頭であり、必要な道具を使うのは手でありそれを支えているのは一人一人の体である。この心技体が、私たち一人ひとりの基本となっている。この事は、どんな進歩した社会に突入しようと、人間の基本となることには間違いはないはずだ。私たちは心を鍛え体を鍛えそして安らかな心を持つ人として生きていかねばならない事は現実のようだ。